

提出書類記入上の注意

1 受験登録カード (P. 23) ※6 出願手続 <郵送または持参による方法>で出願する者のみ

(1) 記入例…コード記入の欄 (本記入例で○囲みの箇所) は、P. 17~19を参照

受験登録カード

1 受験番号 (記入しない)

1	2	3	4
---	---	---	---

2 受験校種・職種、教科等の区分

校種・職種、教科等の区分		校種	教科等の区分	
地理歴史 (世界史)		職種	5	6
省略した書き方でよい。		3	3	1

3 枠

8

4 特別選考

9	10
---	----

5 中・高の併願

11

6 小学校専科 採用の可否

12

7 障害者 選考

13

8 受験上の配慮事項

14

9 氏名

氏名 (漢字・左詰で記入)

15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
岡	山					次	郎								

性との間は1字空けること

氏名のフリガナ (カタカナ・左詰で記入)

31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
オ	カ	ヤ	マ		シ		ロ	ウ									

濁点、半濁点は、1字とみなす。

10 性別

49
1

男性は「1」、女性は「2」を記入

11 生年月日

(昭和/平成)年	月	日
50 51 52 53 54 55		
6 3 0 1 0 4		

「昭和63年1月4日生まれの例」全て2桁の数字で記入

12 最終学歴

先頭から10文字分記入。「学校法人△△学園」等は省略する。

学校名										学校コード	卒業・修了(見込)年月															
○ ○ ○ 大 学											年号	年	月													
56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82
○	○	○	○	大	学															0	1	2	2	3	0	3

13 所有(取得見込)免許状

免許状	(1)	高1種地歴		(2) ※						
コード	校種	種類	教科等	取得	校種	種類	教科等	取得		
	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92
	3	1	1	8	1					

省略した書き方でよい。

14 教員免許状修了確認(有効)期限

(令和)年	月	日
93 94 95 96 97 98		
0 3 0 3 3 1		

全て2桁の数字で記入。取得見込みの場合は空欄でよい。

15 現住所

①郵便番号

99	100	101	102	103	104	105
7	0	0	8	5	7	0

②電話番号(携帯の場合は最初の0を省略)

106	107	108	109	110	111	112	113	114	115
9	0	○	○	○	○	△	△	△	△

16 現職種

116	117
0	8

現職種も含め、直近のものから順に(1)から(3)に3つまで記入する。新規卒業者等で経験職種がない場合は記入しない。短期のアルバイト等は記入しない。

17 現勤務先

現勤務先の名称(略称可)を例にならって先頭から8文字分記入。非常勤講師で兼務している場合、「週当たり時間数の最も多い学校外○校」と記入する。(例)「○○高校外2校」

118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133
◇	◇			株	式	会	社								

18 経験職種

(1)	(2)	(3)
134 135 136 137 138 139		
0	8	

19 加点申請

140

20 希望初任地

141	142
○	

小学校希望者のみ記入

21 選考に当たって考慮する事項

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154
2	2	1	2					1			

小、中(英)・高(英)の志望者は必ず記入。英語の資格等による加点を申請する者は「1」を、該当しない者は「2」を記入。

(2)コード

(7) 「2 受験校種・職種、教科等の区分」は、次のコード表により記入すること。

校種・職種	小学校	中学校	高等学校	特別支援	養護教諭
コード	1	2	3	4	5

教科等の区分	コード	教科等の区分	コード	教科等の区分	コード
小学校	1 0	高等学校 地理歴史 [日本史]	3 2	高等学校 家庭	4 4
中学校 国語	2 0	高等学校 地理歴史 [地 理]	3 3	高等学校 農業	4 5
中学校 社会	2 1	高等学校 公民	3 4	高等学校 工業 [電気]	4 6
中学校 数学	2 2	高等学校 数学	3 5	高等学校 工業 [機械]	4 7
中学校 理科	2 3	高等学校 理科 [物理]	3 6	高等学校 工業 [化学]	4 8
中学校 音楽	2 4	高等学校 理科 [化学]	3 7	高等学校 工業 特別選考D①	4 9
中学校 美術	2 5	高等学校 理科 [生物]	3 8	高等学校 商業	5 0
中学校 保健体育	2 6	高等学校 保健体育	3 9	高等学校 情報	5 1
中学校 技術	2 7	高等学校 芸術 [音楽]	4 0	高等学校 看護	5 2
中学校 家庭	2 8	高等学校 芸術 [美術]	4 1	高等学校 福祉	5 3
中学校 英語	2 9	高等学校 芸術 [書道]	4 2	特別支援学校	6 0
高等学校 国語	3 0	高等学校 英語	4 3	養護教諭	7 0
高等学校 地理歴史 [世界史]	3 1				

(4) 「3 枠」は、次のコード表により記入すること。

該当なし	9	理数枠 (数学)	2	地域枠	4
理数枠 (理科)	1	英語枠	3	社会人枠	5

(7) 「4 特別選考」は、次のコード表により記入すること。

該当なし	9 9	[C②]講師経験者：経験年数	0 5	[D⑤]民間等のキャリア：英語	1 0
[A①]英語の資格：英語	0 1	[D①]民間等のキャリア：工業	0 6	[E①]教職経験者：県内経験者	1 1
[A②]英語を母語	0 2	[D②]民間等のキャリア：看護	0 7	[E②]教職経験者：県外現職者	1 2
[B]スポーツの実績	0 3	[D③]民間等のキャリア：農業	0 8	[F]「教師への道」修了者	1 3
[C①]講師経験者：1次合格者	0 4	[D④]民間等のキャリア：情報	0 9	[G]「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者	1 4

(1) 「12 最終学歴」の「学校コード」は、次のコード表により記入すること。

学校種	コード	学校種	コード
国立大学		高等専門学校	0 8
教員養成課程	0 1	専門学校	0 9
上記以外	0 2	大学院修士課程 (教職大学院を除く)	1 0
公立大学	0 3	教職大学院	1 1
私立大学	0 4	大学院博士課程	1 2
短期大学 (国立・公立・私立の別を問わない)	0 5	その他	1 3
高等学校	0 6		
指定教員養成機関及び国立養護教諭養成所	0 7		

参考：国立の教員養成系教育学部

北海道教育大学教育学部 弘前大学教育学部 岩手大学教育学部 宮城教育大学教育学部
 秋田大学教育文化学部 (教育学部) 山形大学教育学部 福島大学教育学部 茨城大学教育学部 宇都宮大学教育学部
 群馬大学教育学部 埼玉大学教育学部 千葉大学教育学部 東京学芸大学教育学部
 横浜国立大学教育学部 (教育人間科学部) 新潟大学教育学部 (教育人間科学部) 上越教育大学学校教育学部
 富山大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学類 (教育学部) 福井大学教育学部 (教育地域科学部)
 山梨大学教育学部 (教育人間科学部) 信州大学教育学部 岐阜大学教育学部 静岡大学教育学部
 愛知教育大学教育学部 三重大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部
 兵庫教育大学学校教育学部 神戸大学教育学部 奈良教育大学教育学部 和歌山大学教育学部
 鳥取大学教育地域科学部 (教育学部) 島根大学教育学部 岡山大学教育学部 広島大学教育学部 (学校教育学部)
 山口大学教育学部 鳴門教育大学学校教育学部 徳島大学教育学部 香川大学教育学部 愛媛大学教育学部
 高知大学教育学部 福岡教育大学教育学部 佐賀大学教育学部 (文化教育学部) 長崎大学教育学部
 熊本大学教育学部 大分大学教育学部 (教育福祉科学部) 宮崎大学教育学部 (教育文化学部) 鹿児島大学教育学部
 琉球大学教育学部

(オ) 「13 所有（取得見込）免許状」は、受験に必要な主たる免許状を一つ(1)に記入した上で、「校種・職種」、「種類」、「教科等」及び「取得」は、次のコード表から記入すること。

ただし、以下の者については、(2)にも必ず記入すること。

・小学校教諭等（理数枠）出願者	中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの免許状
・小学校教諭等（英語枠）出願者のうち、中学校英語又は高等学校英語の免許状所有者	いずれかの免許状
・高等学校教諭等（地理歴史）出願者	高等学校公民の免許状
・高等学校教諭等（公民）出願者	高等学校地理歴史の免許状
・中・高を併願する出願者	第2志望の受験に必要な主たる免許状
・特別支援学校出願者	基礎となる小学校、中学校又は高等学校のいずれかの免許状

学校種	コード	学校種	コード
小学校	1	栄養教諭	6
中学校	2	盲学校	7
高等学校	3	聾学校	8
特別支援学校	4	養護学校	9
養護教諭	5		

種類	コード
1種	1
2種	2
専修	3

取得	コード
所有	1
取得見込	2

教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード
小学校	01	外国語（英語）	14	職業指導	27	情報処理	40
特別支援学校	02	外国語（英語外）	15	看護	28	計算実務	41
養護教諭	03	音楽	16	福祉	29	情報技術	42
栄養教諭	04	美術	17	情報	30	家庭実習	43
盲学校	05	書道	18	農業	31	職業実習	44
聾学校	06	工芸	19	工業	32	看護実習	45
養護学校	07	保健体育	20	商業	33	福祉実習	46
国語	08	保健	21	水産	34	情報実習	47
社会	09	柔道	22	商船	35	農業実習	48
地理歴史	10	剣道	23	宗教	36	工業実習	49
公民	11	技術	24	建築	37	商業実習	50
数学	12	家庭	25	インテリア	38	水産実習	51
理科	13	職業	26	デザイン	39	商船実習	52

(カ) 「16 現職種」は、次のコード表により記入すること。

職種	コード	職種	コード
本県公立学校の正規職員	01	私立学校の職員	07
他県公立学校の正規職員	02	学校勤務以外の正規職員（経験3年以上）	08
本県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	03	学校勤務以外の正規職員（経験3年未満）	09
他県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	04	新規学卒者（新規の院卒も含む。）	10
本県公立学校の非常勤職員	05	大学院1年生	11
他県公立学校の非常勤職員	06	その他	12

(キ) 「18 経験職種」は、次のコード表により記入すること。

職種	コード
本県公立学校の正規職員	01
他県公立学校の正規職員	02
本県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	03
他県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	04
本県公立学校の非常勤職員	05
他県公立学校の非常勤職員	06
私立学校の職員	07
学校勤務以外の正規職員（経験3年以上）	08
学校勤務以外の正規職員（経験3年未満）	09
その他	10

(ク) 「20 希望初任地」は、次のコード表により記入すること。

市町村名	コード	市町村名	コード
倉敷市	01	和気町	15
津山市	02	早島町	16
玉野市	03	里庄町	17
笠岡市	04	矢掛町	18
井原市	05	新庄村	19
総社市	06	鏡野町	20
高梁市	07	勝央町	21
新見市	08	奈義町	22
備前市	09	西栗倉村	23
瀬戸内市	10	久米南町	24
赤磐市	11	美咲町	25
真庭市	12	吉備中央町	26
美作市	13	どの市町村でもよい	99
浅口市	14		

(ケ) 「21 選考に当たって考慮する事項」は、次のコード表により記入すること。

全員記入 (1) 部活動・ボランティア等の幅広い経験	有	1	無	2				
全員記入 (2) 学校図書館司書教諭の資格	有	1	無	2	見込	3		
全員記入 (3) 特別支援学校教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		
全員記入 (4) 社会教育主事になりうる資格	有	1	無	2	見込	3		
小学校教諭等志望者のみ記入 (5) 中学校（英語）又は高等学校（英語）の教諭普通免許状	中	1	高	2	両方	3	無	4
小学校教諭等志望者のみ記入 (6) <表1> (P.15) に示す各資格・検定における基準以上のスコア	有	1	無	2				
中学校教諭等志望者のみ記入 (7) 小学校教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		
中学校教諭等志望者のみ記入 (8) 複数教科の中学校教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		
中学校（保健体育）及び高等学校（保健体育）志望者のみ記入 (9) 剣道4段以上又は柔道3段以上	剣道	1	柔道	2	両方	3	無	4
高等学校（数学）及び高等学校（理科）志望者のみ記入 (10) <表1> (P.15) に示す各資格・検定における基準以上のスコア	有	1	無	2				
高等学校（福祉）志望者のみ記入 (11) 高等学校（家庭）の教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		
特別支援学校教諭等志望者のみ記入 (12) いずれかの教科の高等学校の教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		

2 自己推薦書（P.24）※6 出願手続<郵送または持参による方法>で出願する者のみ

- (1) ※印欄以外の箇所に記入又は当該項目を○で囲むこと。
- (2) 記入欄は、各項目ごとに簡潔な文章で記入すること。
- (3) 「ICTを活用する能力」及び「英語力」については自身で判断すること。

3 受験票（P.34）※6 出願手続<郵送または持参による方法>で出願する者のみ

「きりとりせん」に沿ってはがき大に切ること。

また、ホームページから印刷する場合は、はがきの厚さ程度の紙に印刷すること。

- (1) ウラ面について
 - (7) ※印欄以外の箇所に記入又は当該項目を○で囲むこと。
 - (イ) 「校種・職種等」及び「枠」欄は、該当するものを○で囲むこと。
 - (ウ) 中学校教諭等（全ての枠を含む。）又は高等学校教諭等を受験する場合は、教科(科目)欄に、受験願書の受験区分で記入した教科(科目)と同じものを記入すること。
 - (エ) 出願の際には受験票に写真を貼らないこと。
(受験票の交付を受けた後に、受験願書に貼った写真と同じものを必ず貼り、受験当日持参すること。)
- (2) オモテ面について
 - (7) 氏名の欄にある「様」を「行」等に直さないこと。
 - (イ) 郵送又は持参による出願の際には、住所、氏名を明記し、必ず63円分切手を貼ること。

※5 出願手続 <電子申請（インターネット）による方法>で出願する者は、5 3 (3) ①を確認し、受験票を作成すること。
(教職員課へ受験票を送付しないため、切手を貼る必要はない。)

5 特別選考調書<様式A>(P.26) ※B 特別選考試験のうち、A、B、D、E、F、Gで出願する者

1 ※印欄は記入しないこと。

2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例) 特別選考A①の場合は、「A①」と記入

3 I・II欄、【大学担当者の証明】欄について

(1) 特別選考A①[英語の資格による特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。

II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。

(2) 特別選考A②[英語を母語とする者を対象とした特別選考]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び任用種別(教諭、常勤講師、非常勤講師等)を記入すること。

II 何も記入しないこと。

(3) 特別選考B[スポーツの実績による特別選考(中学校・高等学校の保健体育)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす大会名(開催年月)、成績を記入すること。

II 専門競技種目名、所属チーム名、資格(スポーツに関する資格(日本スポーツ協会公認資格等))、大学入学以降の主な競技歴(国際レベルの大会又は全国規模の大会について、その大会名、成績、役職、ポジション、その他特記事項)を記入すること。

(4) 特別選考D①[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の工業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校(実習助手に限る)における工業(出願する分野)に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 工業の教諭普通免許状を有しない場合は、工業(出願する分野)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(5) 特別選考D②[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の看護)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)としての勤務歴について、勤務先及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 看護の教諭普通免許状を有しない場合は、看護に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(6) 特別選考D③[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の農業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校(実習助手に限る)における農業に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 農業の教諭普通免許状を有しない場合は、農業に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(7) 特別選考D④[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の情報)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における情報に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 情報の教諭普通免許状を有しない場合は、情報に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(8) 特別選考D⑤[民間等のキャリアによる特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における日常的に英語を使用する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。また、特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。

II 英語の教諭普通免許状を有しない場合は、英語に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(9) 特別選考E①[教職経験者を対象とした特別選考(本県教職経験者)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、本県の公立学校の教諭等又は養護教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。なお、現に県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)の職にある者については、現任校も含めて記入すること。

II 何も記入しないこと。

(10) 特別選考E②[教職経験者を対象とした特別選考(県外現職者)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、県外の公立学校の教諭等又は養護教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴(現任校を含む。)について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。

II 何も記入しないこと。

(11) 特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]の場合

I 何も記入しないこと。

II 「教師への道」研修で学んだことや感想を記入すること。

(12) 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修(予定)期間を記入すること。

II 何も記入しないこと。

【大学担当者の証明】 出願時に修了見込みの者は、現在履修中の大学担当者が作成したものを提出すること。

6 特別選考調書<様式イ>(P.27) ※8 特別選考試験のうち、Cで出願する者

- 1 ※印欄は記入しないこと。
- 2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。 (例) 特別選考C①の場合は、「C①」と記入
- 3 【講師経験】欄及び【所属長の推薦】欄について

(1) 特別選考C①【講師経験者を対象とした特別選考(前年度第1次試験合格者)】の場合

【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における令和2年4月1日から令和4年5月11日までの勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員、臨時学校栄養職員、非常勤講師)を記入すること。

【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和4年4月1日から令和4年5月11日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。

なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和4年4月1日から令和5年3月31日)を記入する。

(2) 特別選考C②【講師経験者を対象とした特別選考(経験年数)】の場合

【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における平成30年4月1日から令和4年5月11日までの常勤講師等(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員)及び臨時学校栄養職員(常勤に限る。)としての勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別を記入すること。

【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和4年4月1日から令和4年5月11日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。

なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和4年4月1日から令和5年3月31日)を記入する。

(記入例) C②の場合

勤務学校名	在職期間						在職年数	任用種別	
	年	月	日	年	月	日			
〇〇市立△△小学校	H30	5	25	~	H31	3	30	0年 11月	常勤講師
岡山県立〇〇支援学校	R2	4	1	~	R3	7	25	1年 4月	実習助手兼講師
岡山県立〇〇高等学校	R4	4	1	~	R4	5	11	0年 2月	常勤講師
						合計		2年 5月	